

7-7-3 業務体系SWG

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

建設コンサルタントの事業領域のうち、主として、社会資本の建設事業や維持管理・更新事業における建設コンサルタントの役割について、建設コンサルタンツ協会としての基本的な考え方について検討する。

検討成果として、建設コンサルタントの役割に関する基本的な考え方が明確化されることにより、建設コンサルタンツ協会として、様々な発注者、施工者との協議において、一貫性のある意見を発信することが可能になることが期待される。

検討内容としては、企画部会より提案され、技術部会にて検討した平成28年度「要望と提案」に盛り込まれた「修繕工事の技術的課題に対応した入札契約制度の参考例、「修繕工事」の入札契約方式比較表(案)」、さらに「新設工事」の入札契約方式比較表(案)」を基本として、各入札契約方針における特性の整理、検討を行う。具体的には、調査・計画、概略・予備設計、詳細設計、施工といった各段階における役割分担、さらに発注者を補完する役割、各入札契約方式のメリット、デメリットとしての品質、生産性の評価内容の妥当性等について検討する。

2. 実績報告

(1) 橋梁保全業務に関する調査、設計及び施工の契約方式等のあり方の検討

社会資本の建設事業や維持管理・更新事業における建設コンサルタントの役割について、主に以下の点について検討を行った。

・ 橋梁修繕事業における具体的な課題検討および設計者と施工者の連携による課題解決の検討

日本橋梁建設協会との共同勉強会を通して、双方の課題と連携による課題解決に向けた調達制度を検討し基礎資料を作成した。

(2) 生産性向上と品質向上に資する新たな事業推進形態に関わる新たな役割の整理

・ 事業特性等に応じた多様な入札契約方式における建設コンサルタントの役割の検討

DBやECIなど事業特性等に応じて多様な入札契約方式の採用が試行、実施されてきているが、事業の円滑かつ公平な推進においては発注者側の体制を補完する建設コンサルタントの役割(CM)が重要となっている。CMとしての必要性、効果的な役割等について、以下の契約形態タイプについて検討、整理を行った。

設計・施工一括タイプ

技術協力・施工タイプ

設計交渉・施工タイプ

3. その他報告事項

(1) 要望と提案に関する事項の調査、執筆

維持管理・更新事業における技術的課題の改善、多様な入札契約方式における建設コンサルタントの役割について、基礎資料等の作成を担当した。

4. 次年度の活動について

(1) 橋梁保全事業における調査、設計及び施工の契約方式のあり方

(2) 事業特性等に応じた多様な入札契約方式における建設コンサルタントの役割、関与のあり方
上記2つの個別課題について、建設コンサルタントの設計者としての役割、関与のあり方、契約方式における基本姿勢について、整理してきた。今後は、建設コンサルタンツ協会としての統一見解に向けた整理、調整を図るとともに、実施(試行含む)に関わる具体的な課題についても検討を継続する。

(業務体系SWG SWG長 万名 克実)